



事務部長が語る。

—地域と経営を支える外来戦略！—

地域包括ケアシステムに基づく機能区分を促進させた結果、診療所で外来を受診される患者さんが増えています。この議論を突き詰めていくと、**病院に外来機能は必要ないのではないか?**という結論になりますが、未だに外来が大きな収益の支えとなっている病院の様子も散見され外来機能の在り方について考えさせられます。

新型コロナウイルス感染症の影響による患者の受診控えにより、各医療機関は患者さんが安心して病院に来られるように、様々な対策に取り組むこととなりました。感染対策によるICTを利用した待合環境整備、電話再診による処方箋発行、オンライン診療、コロナ禍においてもアフターコロナにおいても患者さんや診療所から選ばれる病院として、新たな医療サービス、患者サービスが求められ、今病院の外来機能は大きく変化しようとしています。

今回は、宮城県から医療法人松田会松田病院の佐竹事務部長、山梨県から社会医療法人財団加納岩から宮沢事務局長をお招きして、外来戦略における取組の実例をお示し頂き、『**地域に寄り添い、経営を支える外来機能の最適解とは何か?**』是非皆さんと一緒に迫って参りたいと思います。

閉会后に約1時間程度、オンライン懇親会も予定しております。ご都合のつく方は是非こちらもご参加ください。

ZOOM
リアルタイム配信

【詳細・お申込はこちら】



<https://bit.ly/30fIBfr>

日時 : 2021年 11月19日 (金) 19:00~21:00

場所 : オンライン (Zoomミーティング)

参加費 : 会員 1,000円 非会員 3,000円

講師紹介

